

(様式2)新規評価シート

建設部 砂防課

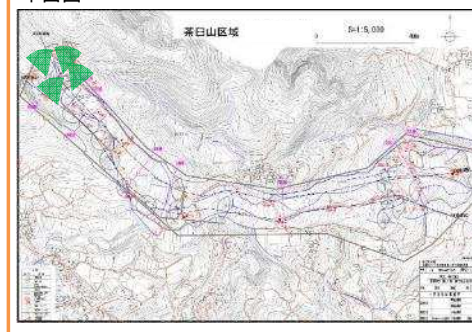
事業名		地すべり対策事業		路河川名等	茶臼山				
事業毎の通番		1	市町村名	長野市	箇所名(ふりがな)	茶臼山(ちやうすやま)			
事業概要	事業目的	茶臼山地すべり地区は、明治期から活動が確認されており、長年に渡り対策工が実施されてきた。近年の現地調査で地すべりに起因すると疑われる水路等の破損が確認された。今後沈静化していた地すべり活動が活発化する可能性があるため、早急に対策を実施したい。							
	しあわせ信州創造プラン2.0における位置付け	4-1 県土の強靱化(災害に強いインフラ整備)		事業実施の根拠法令等	地すべり防止法				
	関連する事業、計画等	防災安全 緊急改築事業							
	保全対象・範囲 受益対象・範囲	保全対象人家 30戸、市道4500m							
	着手年度	平成30年度	事業期間	4年間	事業費(千円)	財源内訳(千円)			
	完成年度(見込み)	平成33年度	費用対効果	19.0	国庫	その他	県債	一般財源	
全体事業内容(主な工種)	集水井工 N=1基 集水ボーリング工 L=500m 排水ボーリング工 L=50m 横ボーリング工 ΣL=2000m 水路工 L=200m			100,000	50,000	40,000	10,000		
事業効果	直接的効果(定量的・定性的)	人家、道路等の保全							
	間接的効果(定量的・定性的)	災害に強い地域づくり							
評価の視点	必要性	人家戸数:	30戸	評価					
		公共施設:	市道4500m	B					
	重要性	要配慮者支援施設:	あり						
		河川への土砂流量:	なし						
	効率性	過去の災害履歴:	災害履歴地	評価					
		交通遮断による地域経済への影響:	市道の被災により近隣住民の生活に影響がある	C					
緊急性	地域防災計画上の位置付け:	位置けなし							
	費用便益比(B/C):	18.96	評価						
計画熟度	事業期間:	平成30~33年度(4箇年)							
	工法等の比較検討:	調査・解析を行い工法を検討する	A						
所管課意見	地すべり活動度:	軽微な動きがある	評価						
	地すべり変状:	水路工等の破損等	A						
技術管理室意見	下流の堰堤等の整備状況:	なし							
	事業情報の共有:	関係者に対し事業説明を実施している	評価						
所管課意見	地域の取り組み:	市から要望があり協力的である							
	地域の合意形成:	事業目的について合意形成が図られている	B						
所管課意見	住民の協働:	協働なし							
	H9に概成している箇所であるが、観測において累積変動が確認されたため、調査を実施し早急なる対応が必要である。	採択状況	総合評価						
技術管理室意見	所管課の意見を適当と認める。	○	B						

【位置図、平面図、構造図等】(縮尺任意ですが、見やすいもので)

位置図



平面図



事業概要説明図表

【整備の必要性がわかる状況写真等】

水路の破損状況



近隣には恐竜公園や植物園があり、多くの人が利用している。



事業周辺環境

①事業実施に至る歴史的経緯・社会的背景	新第三紀中新世後期～鮮新世の堆積岩類および火山岩類を基盤として、その上位に第四紀中期更新世以降の未固結堆積物が分布している。明治期から地すべり活動があり、これまで長年に渡り対策工が実施されてきている。	
②地域からの要望経緯及び地域の関わり	地すべりに対する地元の理解が深く、要望がある。	
③事業説明等の経緯	明治期～昭和にかけて多くの対策工が実施され、事業に対する地元の理解も深い。	
④他事業・プロジェクトとの整合、関連	防災安全 緊急改築事業による地すべり防止施設の維持修繕	
⑤自然環境・生活環境への影響と配慮	横ボーリング孔口等、地表に露出するものはふとん竈など、自然の資材を用いたもので施工し、環境や景観に馴染むよう配慮する。	
⑥地域活性化への影響と配慮	本事業により地すべり災害の防止が図られ、災害に強い地域づくりが推進される。	
⑦その他	なし	
	事業代表地点の緯度経度	北緯:N 138° 06' 31" 87 東経:E 36° 35' 33" 73